

# 神西湖・神戸川ヤマトシジミ天然採苗試験

向井哲也・堀 玲子<sup>1</sup>・吉田大輔<sup>1</sup>・木下 光<sup>1</sup>

## 1. 研究目的

神西湖漁業協同組合および神戸川漁業協同組合は平成 25 年度にヤマトシジミ増殖を目的としてヤマトシジミの天然採苗事業を実施したため、効果について検証した。

## 2. 研究方法

### (1) 神西湖

採苗器は、シジミ袋（目合約 8 mm，大きさ 55×36cm のナイロン製の網袋）の中に附着基質として同じシジミ袋 3 枚を切り開いて入れたものである。採苗器は、図 1 に示す 7 地点（水深約 1.5m）の表層に張ったロープに設置した。採苗器の数は合計 300 個とした。採苗器は平成 25 年 6 月 4 日に設置し、平成 25 年 10 月 1 日に取り上げた。各地点 1 個の採苗器の内容物 100g を目合 1mm のサランネットでふるい、ヤマトシジミとコウロエンカワヒバリガイの個数を計数して採苗器 1 個あたりの数に引き延ばした。また地点 1 で採苗されたヤマトシジミについては殻長を計測した。

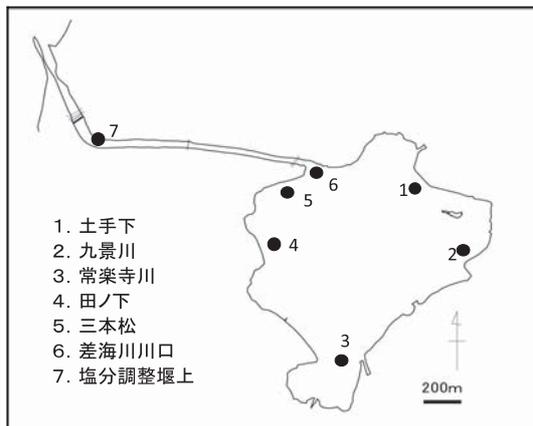


図 1 神西湖 採苗器設置地点

### (2) 神戸川

採苗器はタマネギ袋の中に附着基質としてシジミ袋を入れたものを用いた。設置地点は図 2

のとおりである。平成 24 年は採苗器を橋の橋脚に結びつけて設置し稚貝がほとんど採れなかったため、平成 25 年は地点 A, C では木の棒（長さ約 2m）、それ以外の地点では木製の筏（約 1×2m）を橋脚や護岸ブロックに係留して採苗器を垂下した。採苗器数は合計 70 個で、設置は平成 25 年 6 月 7 日、回収は 11 月 23 日である。回収した採苗器の内容物は 1mm ふるいでふるって稚貝を計数した。

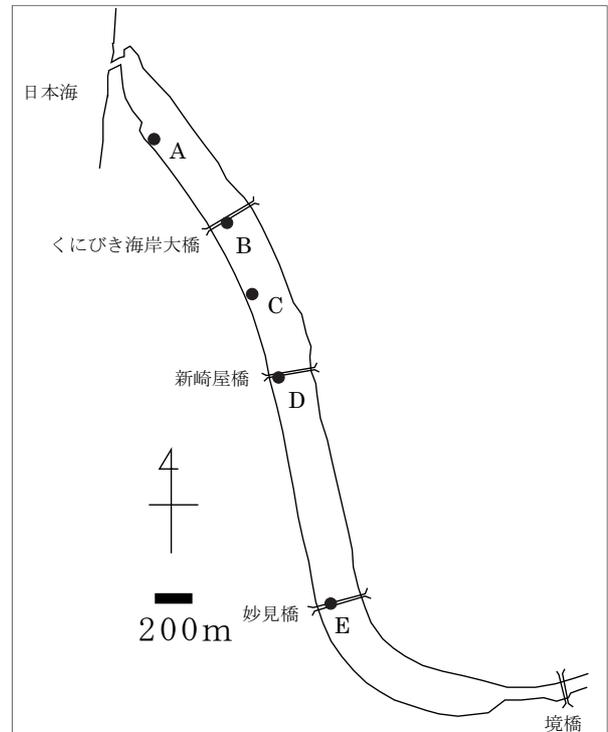


図 2 神戸川 採苗器設置地点

## 3. 研究結果

### (1) 神西湖

表 1 に採苗されたヤマトシジミの個数を示す。採苗器 1 個あたりのヤマトシジミの採苗数は平均で 743 個であった。図 3 に採苗されたヤマトシジミの殻長組成を示す。平均殻長は 5.0mm で殻長約 3mm にモードが認められた。採苗器には殻長 2~7mm のコウロエンカワヒバリガイ稚貝も多数入っていた。

<sup>1</sup> 島根県松江水産事務所

表1 神西湖 天然採苗調査結果

地点	ヤマトシジミ		コウロエンカワヒバリガイ	
	個体数	重量 (g)	個体数	重量 (g)
1.土手下	1,458	90.3	10	0.0
2.九景川	696	12.4	18	0.0
3.常楽寺川	351	6.5	26	0.0
4.田ノ下	641	17.0	349	1.9
5.三本松	1,466	91.2	21	0.0
6.差海川川口	590	15.5	266	2.1
7.塩分調整堰上	0	0.0	2	0.0
全地点平均	743	33.3	99	0.6

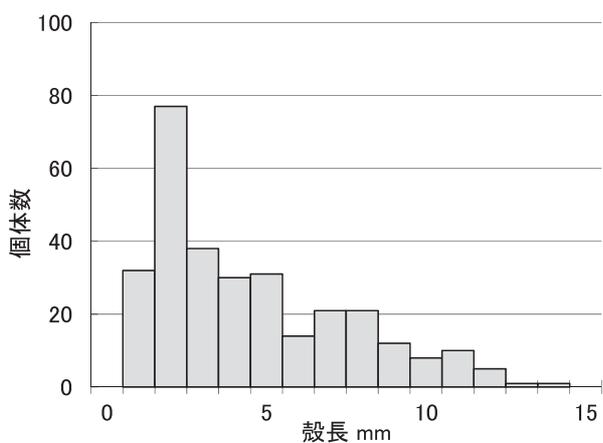


図3 神西湖で採苗されたヤマトシジミ稚貝の殻長組成

## (2) 神戸川

地点 A では採苗施設が流失した。それ以外の地点で各地点 1 個ずつ採苗器を取り上げてヤマトシジミ稚貝数を計数したが、地点 C で稚貝が 1 個（殻長 2.2mm）見られただけで、他は全く稚貝が確認できなかった。また、全ての採苗器を取り上げて稚貝を確認したが、稚貝数は合計で 50 個程度と極めて少なかった。

## 4. 研究成果

調査で得られた結果は神西湖・神戸川の各漁業協同組合と出雲市に提供された。